

言語活動の充実に関する実践事例

学校名(尾道市立瀬戸田小学校)

- ① 教科等 図画工作科 ② 学年 第6学年
- ③ 題材名 瀬戸田に遊ぶ
- ④ 本時の目標 画家や自分たちの作品について、形や色、動きを手掛かりに感じたことや考えたことを交流することによって、作品のよさや美しさを感じ取ることができる。
- ⑤ 学習の流れ(5時間目/全5時間) ◆指導すべき点(しっかり) ★思考力(じっくり) ■発信力(はっきり)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時の学習内容の把握 ○形や色、動きを手掛かりに美術作品や自分たちの作品のよさを交流する。 ○本時のめあてを確認し、見通しをもつ。	◆自分たちが「ふるさと瀬戸田」を表現した上で、再び本時で美術作品や自分たちの「ふるさと」の表現について感じたことや考えたことを交流することを伝え、学習の見通しをもたせる。	
「ふるさと」を表現した作品について、形や色、動きを手掛かりに感じたことや考えたことを交流しよう。		
2 表現の工夫 ○「ふるさと」を表現した自分たちの作品製作に当たり、とらえたテーマを交流する。	■「ふるさと」を表現した作品の工夫点を、「形」「色」「動き」「イメージ」の視点で話し合わせる。 ・自分や友だちの作品の表現の工夫について振り返り、美術作品の「ふるさと」の表現から参考にした点や自分なりに感じた「テーマ」などを発表させる。	
3 友達との交流 ○互いの選んだ「ふるさと」の作品について形や色、動きを手掛かりに感じたことを交流する。 ・「作品全体の色や動きから『ふるさと』がもつエネルギーみたいなものを感じました。」	・互いの感想を一齐に交流できるように、教室の環境整備やワークシートの工夫を行う。 ・肯定的な視点で交流できるようにさせる。 ★自分たちのとらえたふるさとのテーマと照らし合わせて、「ふるさと」を表現した美術作品を鑑賞して感じ取ったことや考えたことを交流させ、考えを深めさせる。 ・「ふるさと」を表現した美術作品を改めて鑑賞し、すばらしさを感じ取らせる。 ・「ふるさと」を表現した美術作品を基に、作品には制作者の思いが詰まっていることや、形や色、イメージによってすばらしい表現ができることに気付かせる。	・「ふるさと」の美術作品について、形、色、動きや、それらの組合せを生かした表現のよさを感じ取っている。 〔鑑賞の能力〕 (発言内容・ワークシート)
4 本時のまとめ ○学習を振り返る。	・見る楽しさや表現する楽しさを共有しながら作品のよさや美しさを感じ取り、見方を深める活動のよさに気付かせる。	

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 話し合う活動を通して児童が自分なりの意味や価値をつくりだし、作品の見方、感じ方を深めることができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 話し合う視点を明確にした問いを工夫する。
- 製作過程における思いや考えを整理させるためにワークシート(ポートフォリオ)を活用させる。